

公表					事業所における自己評価総括表				
○事業所名		トレッペン							
○保護者評価実施期間		2025年2月21日		～		2025年3月7日			
○保護者評価有効回答数		(対象者数)	13家庭		(回答者数)	13家庭			
○従業者評価実施期間		2025年2月21日		～		2025年3月7日			
○従業者評価有効回答数		(対象者数)	4		(回答者数)	4			
○事業者向け自己評価表作成日		2025年3月25日							

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童が安心感をもち、楽しみに来所しているところ。	個々の心身の状態を見ながら、日々の過ごし方に配慮している。スタッフとの信頼関係が持てるように接している。遊ぶときにはスタッフも全力で遊んでいる。	今後も楽しんで来所できるよう、子どもたちの気持ちに寄り添う。全力で向き合っていく。
2	余暇活動に活かせる力をつける。	こどもの遊び方を優先しながらも、ひとり遊びの時間、小集団での時間、全員で遊ぶ時間を設定している。子どもが自己選択を行い、困った時にはスタッフが助言している。	子どもと一緒に新しい遊びの開拓をする。ルール作りはメンバーを見ながら考える。
3	小学生1年生から高校3年生までが同じ部屋で遊ぶ。	怪我がないように、小さい子どもが大きい子に対しての力加減、大きい子が小さい子に対しての力加減を知らせている。	小1～高3までが一緒に遊べるゲームの開拓や、大きい子どもたちがクールダウンできるようスケジュールを組む。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	新しいスタッフの採用がない。	新しいスタッフとの関わりを見ることができていない。スタッフの研修参加の際の体制が取りづらい。	スタッフの確保を目指す。
2	小学生1年生から高校3年生までが同じ部屋で遊ぶ	昨年度まで2つの事業所を運営していたが規模縮小のため一つの事業所の運営に変わった。学年別で分けられていたところが現在では小1から高3までが同じフロアで過ごすことになっている。強みでもあり、弱みでもある。	年齢分けの小集団でのアプローチを考えていく。
3	トイレ介助が必要な場合を考えるとトイレが狭い。	空間は変えることができないため、部屋を仕切り介助できる環境を考える。	介助が必要な児童が見学に来た際に説明できる準備が必要。

公表										保護者等からの事業所評価の集計結果									
事業所名		トレッパン				公表日		2025年3月25日											
						利用児童数		20人		回収数		13家庭							
		チェック項目				はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応							
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。				12	1			・公園を使用することで体を動かすこともできていると思います。 ・広く活動しやすいと思う。									
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。				12	1			・十分目配りをしてもらっていると感じる。		今後も指定基準を遵守し、職員配置をします。							
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。 また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。				13				・道具やおもちゃなどわかりやすく使いやすい配慮が多々見られる。									
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。				13				・明るく清潔で心地よく理想的な空間になっていると思う。									
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。				13				・こどもの特性を十分に理解してもらえていると思います。 ・とてもよく観察していただきよい支援を受けている。									
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。				12			1	・月案とかなないのでわからない。		個々に応じたプログラムと全体に対応するプログラムで立案しています。							
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。				13				・長期、短期に分かれていて具体的に作成されていると思います。 ・こどもの特性をしっかりと深く見てくれており、保護者のニーズもくみとって作成してくれている。									
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。				13				・長期、短期に分かれていて具体的に作成されていると思います。 ・こどもの特性に応じたわかりやすい内容でよく考えていただいていると感じることが多い。									
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。				13													
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。				12			1	・固定化されることで見直しを立てて過ごせていると思います。 ・こどもの成長に応じて十分工夫されていると思う。		固定化の中で利用児の変化をみています。							
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。					1	8	4	・必要性を感じていません。 ・そのような機会が必要だと感じていない。 ・必要と思わないのでこのままでいいと思います。									
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。				13													
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。				12			1										
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。				8	2	1	2			必要なご家庭に案内プリントの配布をしています。							
保護者 への 説明 等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。				13				・連絡ノートで日々の状況を共有、理解できていると思います。 ・主に、日々の連絡ノートで情報共有できていると感じる。									
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。				13				・日々助言、支援をいただいている。									
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。				13				・とても共感的です。 ・常に自分ごととしてかわってくださっているような支援を感じる。									
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。				6	4	1	2	・これまでに行われた会を通して交流ができるようになっていきます。 兄弟同士の交流は年齢的に必要と考えていません。 ・コロナで集まれなくなつてから交流の機会が設けられていないのでまた集まって交流したいなと思っています。		コロナで他の事業所より慎重に対応してきたため、開催ができいな期間が長くなりました。 来年度から保護者会、茶話会等で交流できる機会を設けたいと検討しております。							
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。				10	2		1	・とても迅速に対応していただいています。 ・どんな相談でもできるという安心感を持っている。		今後も迅速に対応できるようにしてまいります。							
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。				13													
	21	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。				11			2	・毎月のおたよりで情報を得ています。 ・月一回子どもたちの様子や成長がわかる通信がありありがたい。		ホームページやSNSでの発信は現在のところ検討しておりません。							
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。				13													
非常時 等の 対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。				13				・わかりやすいマニュアルをいただいている。訓練をしたという話も聞いている。									
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				12			1	・わかりやすいマニュアルをいただいている。訓練をしたという話も聞いている。									
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。				13				・常にこどもの安全を第一に考えておられると感じる。									
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。				13													
満足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。				13				・安心した居場所になっています。 ・家とは違う公共の安心できる場所ととらえていると思う。		ひとりひとりの子どもに寄り添い、子どもたちがこれからも安心して通所できる場所であるように心がけます。							
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。				12	1			・友だちに会うことを楽しみにしています。 ・友だちやスタッフとの交流をととても楽しんでいる。 ・子どもの状況による。		ひとりひとりの子どもに寄り添い、子どもたちがこれからも楽しんで通所できる場所であるように心がけます。							
	29	事業所の支援に満足していますか。				13				・満足しています。 ・丁寧な子事のごもった支援でいつも感謝している。		これからも満足していただけるよう努力してまいります。							

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		トレッペン	公表日				2025年 3月 25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		指定基準を遵守し、活動に適したスペースを確保しています。	遊び場所の振り分けを工夫します。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4		指定基準を遵守し、職員配置をしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		図や文字を使って視覚支援をしています。また構造化を心がけて支援が必要な児童に配慮ある環境設定をしています。	子どもにわかりやすい環境にはなっている。バリアフリー化はできておらず玄関には段差がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		清掃・整理整頓・玩具の消毒や手洗いを励行しています。飲食前、乗車前には消毒スプレーでの手指消毒の徹底をしています。冬季には加湿器を使用しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		個室はありません。学習スペースの使用をします。	場合によっては事務所内を使用することを検討します。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		目標設定・振り返り等は、職員全体で共有できるように会議を開き積極的な参画を促しています。また、PDCAサイクルからOODAグループの実行に向けて努力しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		ご意見を伺い、改善に努めてまいります。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		職員間での意見交換を行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	外部評価は行っていません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		各機関の研修案内から研修に参加しています。また、書籍・資料を読むことで職員間の共通認識を行っています。	自分の得たい知識は積極的に参加できるようにシフト調整ができる体制作り。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		保護者からの聴き取りや発達検査の結果等によって詳細なアセスメントを実施して放課後等デイサービス計画書を作成しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		それぞれのこどもの状況に合わせて個別の支援を目指し、個別または集団活動を行っています。集団音楽療法を行っています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		療育・生活・音楽・制作・言語面等の基本的項目より、それぞれのこどもに適する項目を選定し、具体的な支援内容を記載しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		放課後等デイサービス計画に基づいた適切な支援を実施するようにと努めています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		チェックシートを使用し確認をしています。	保護者の方と定期的な確認を行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		項目に応じた内容で設定しています。	保護者の方と連携を取りながら設定してまいります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	職員全体の支援会議で意見交換をし、それに基づき活動プログラムを立案しています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		4	固定したプログラムを実施し、利用当日の利用児の様子を鑑みて支援するようにしています。また、固定のプログラムを実施すると共にそれぞれの利用児に合わせた設定を工夫しています。		

保 護 者 へ	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		学習支援や個別のSST等、遊びを通して、音楽療法等の集団活動で支援しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		支援開始前はもしくは、前日の支援終了後にそれぞれの役割・支援の内容を伝達し、確認をして次回の利用に役立てるようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		支援終了後にその日行われた支援内容を振り返り、次回へとつなぎます。送迎時の保護者からの聞き取り内容等の共有を丁寧にしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		日々の支援内容を正確に記載しています。ポイントとなる部分は『エピソード記録』として記録し、その内容を支援会議で検証・改善に努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		定期的に指定基準に準拠したモニタリングを行い、計画書の見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		4つの基本活動を取り入れて支援を行っております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		小さな決定を行っていく自由な場所であるよう支援しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		4	該当する児童の在籍がありません。	担当者会議が行われる場合は参加いたします
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		連携とまで言える体制は整っていない。	状況に応じて対応できるよう体制を整えてまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		ご家庭を通して連絡をいただいております。適正に行っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		必要に応じて連携を取っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		4	該当する児童の在籍がありません。	必要に応じて情報提供・連携を行ってまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4	地域外で研修をうけています。	機会があれば助言をお願いすることや研修参加ができればと思っております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4	現在までそのような機会を設けておりません。	参加できる行事があれば参加を検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4	積極的には参加できていないとは言えないが、サービス提供時間に係らない場合、また体制が取れる場合は参加したい。	積極的に参加できるようシフト調整ができる体制作りをしたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		ノートを使用し日々の情報を共有している。緊急性のある場合は電話でお伝えしています。	
保 護 者 へ	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4	保護者会の開催時にはフンポイント支援に対する説明を実施しています。必要に応じては行政からの案内パンフレット等を配布いたします。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に丁寧なわかりやすい説明を心がけています。	常にわかりやすい丁寧な説明を心がけます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		面談時にこどもやご家庭の意志を伺っております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		同意をいただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		面談や電話等で相談に応じております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4	コロナ後慎重に対応しているため、交流の機会が減っています。利用児以外の兄弟が参加できる行事は行っておりますが、参加のみでの交流まではできておりません。	来年度から保護者会茶話会等を検討しております。

の 説 明 等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		4	現年度を含み、現在までに苦情等を受け付けたことはありません。苦情に対して、できるだけ迅速にかつ適切な対応をするように努力しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		月に一度おたよりを発行しています。日々の活動の様子はHPやSNSの活用はしていません。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報のファイル資料の扱いには留意し、鍵付き保管庫で管理しています。事業所内の顔写真の公開については同意書を取っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		わかりやすい表現や誤解のない表現をするよう心がけています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	現在までそのような機会はなく、今後も予定はありません。	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		業務継続計画（BCP）を策定し、年に一回BCP訓練を行っています。年に二回子どもを含めた防災訓練を行い、災害時の対応を文書で保護者にお知らせしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		把握、確認をしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		利用開始時やアセスメント時に保護者からアレルギーの有無・種類等を確認しています。おやつ等材料表記等を確認しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		送迎車の下車確認は確認表を作成し、また出欠確認は徹底してスタッフ間で声かけを行っています。遊具の点検は使用前日に行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		4	ご説明はしていますが、ご家族との連携や周知までできていないのではないかと思います。	面談時に再度説明をして連携のとれる体制を検討いたします。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		事例集の作成はしていませんがヒヤリハットが起こった時には、報告書を作成し共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待委員会を設置し社内研修を行い適切に対応しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		該当する児童の在籍がありませんが、マニュアルを徹底し、職員に周知しています。	